



いたわりplus

経営情報



特集 江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会

市立病院が地域医療において担うべき役割や、そのために必要な診療体制、経営安定化などを検討するため、市民、医療関係者、学識者など13名で構成される「江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会」を設置しました。

これまでの検討の経過についてお知らせします。

第1回委員会 8月16日(金)

三好市長から各委員に委嘱状を交付。委員の互選で選ばれた西澤委員長へ諮問書を手渡しました。委員会設置の経緯、市立病院の沿革と概況、市立病院の患者数の推移と診療収益状況および決算等の推移、新公立病院改革プランの概要などの報告を受けた後、今後の進め方について審議しました。

“地域医療を守る”観点から、市立病院の役割とあり方について、さまざまな角度から検討することとされました。



第2回委員会 9月30日(月)

北海道地域医療構想の概要、江別市および近隣町村の医療機関の状況、江別市および札幌医療圏の受療動向、市立病院の患者動向、平成29年度病床機能報告制度の結果概要、将来の人口・患者推計、市立病院の地域医療連携に関するアンケート調査結果などについて報告を受けた後、市立病院の役割について、意見を交わしました。また、専門委員会の設置についても検討することになりました。



▶ 委員会の資料や議事録

市立病院ホームページ <https://www.ebetsu-hospital.jp/> で公開しています。



第3回委員会 10月28日(月)

市立病院の沿革、疾患別の将来患者推計・患者流出状況の分析結果、近隣急性期病院の状況などの報告を受けた後、市立病院の担うべき医療について意見を交わしました。

また、診療体制や経営改善策などのテーマを集中的に検討する専門委員会を設置することになりました。専門委員会の議論をフィードバックすることで、委員会の議論をさらに推進するものです。

第4回委員会 11月27日(水)

第1回専門委員会(11月18日開催)の議論の経過報告のほか、病院事業の資金、病床規模の考え方や機能分担、経営指標、経営形態別の比較などについて報告を受け、続いて、市立病院の診療体制について意見を交わしました。

第5回委員会 12月11日(水)

市長が出席し、新年度予算編成を控え、厳しい市財政の状況や市立病院の経営改善の必要性についてあいさつがありました。委員会では、これまでの検討経過について再確認を行った後、診療体制の確立に向けた方策、経費削減策と収益増加策、地方独立行政法人を中心とした経営形態の変更について、意見を交わしました。

また、現実的な医師確保の水準と方策、需要と供給の両面から診療体制の方向性などについて議論を進めた後、今後の進め方について審議しました。

今後の予定

12月下旬に第2回専門委員会を、1月中旬に第3回専門委員会を開催し、診療体制、経営改善についてさらに議論・検討を重ね、その結果を1月下旬に開催予定の第6回委員会にフィードバックして、答申書の取りまとめに向けて進めていきます。

協議の進め方

8月16日
(第1回)

○概況説明、今後の進め方

- ・委嘱状交付
- ・委員長、副委員長互選
- ・諮問書交付

9月30日
(第2回)

○地域医療の現状

- ・北海道地域医療構想の概要
- ・江別市および近隣市町村の医療需給動向
- ・地域医療において市立病院が担うべき役割

10月28日
(第3回)

○市立病院が担うべき医療に関する事項

- ・市立病院が担うべき医療機能
- ・市立病院が担うべき政策的医療分野 など

11月27日
(第4回)

○市立病院の診療体制に関する事項

- ・診療科の方向性
- ・病床規模の方向性 など

12月11日
(第5回)

○市立病院の経営改善に関する事項

- ・経費削減策と収益増加策
- ・診療体制の確立に向けた方策
- ・経営形態の方向性 など

1月(1回)

答申書の検討・取りまとめ

2月(1回)

答 申

